

聖霊降臨後第3主日特祷

全能の神よ、どうかこの世界がみ摂理のもとに安らかに治められ、主の公会がいつも喜びに溢れ、信頼と穏やかな心をもって、あなたに仕えることができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

旧約聖書 創世記3章8節～21節

3:8 その日、風の吹く頃、彼らは、神である主が園の中を歩き回る音を聞いた。そこで人とその妻は、神である主の顔を避け、園の木の間に身を隠した。9 神である主は人に声をかけて言われた。「どこにいるのか。」10 彼は答えた。「私はあなたの足音を園で耳にしました。私は裸なので、怖くなり、身を隠したのです。」11 神は言われた。「裸であることを誰があなたに告げたのか。取って食べてはいけないと命じておいた木から食べたのか。」12 人は答えた。「あなたが私と共にいるようにと与えてくださった妻、その妻が木から取ってくれたので私は食べたのです。」13 神である主は女に言われた。「何とということをしたのか。」女は答えた。「蛇がだましたのです。それで私は食べたのです。」14 神である主は、蛇に向かって言われた。「このようなことをしたお前は、あらゆる家畜、あらゆる野の獣の中で、最も呪われる。お前は這いずり回り、生涯にわたって塵を食べることになる。15 お前と女、お前の子孫と女の子孫との間に／私は敵意を置く。彼はお前の頭を砕き、お前は彼のかかとを砕く。」16 神は女に向かって言われた。「私はあなたの身ごもりの苦しみを大いに増す。あなたは苦しんで子を産むことになる。あなたは夫を求め、夫はあなたを治める。」17 神は人に言われた。「あなたは妻の声に聞き従い、取って食べてはいけないと、命じておいた木から食べた。あなたのゆえに、土は呪われてしまった。あなたは生涯にわたり、苦しんで食べ物を得ることになる。18 土があなたのために生えさせるのは／茨とあざみである。あなたはその野の草を食べる。19 土から取ら

れたあなたは土に帰るまで、額に汗して糧を得る。あなたは塵だから、塵に帰る。」
20 人は妻をエバと名付けた。彼女がすべての生ける者の母となったからである。21
神である主は、人とその妻に皮の衣を作って着せられた。

詩 編 第130篇

- 1 主よ、深い淵からあなたに叫び // 嘆き祈るわたしの声を聞いてください
- 2 主よ、あなたが目を留められるなら // 主よ、だれがあなたの前に立ちえよう
- 3 しかし、あなたの赦しのために // 人はあなたを畏れかしこむ
- 4 わたしは主を待ち望む、わたしの魂は待ち望む // わたしはみ言葉に寄り頼む
- 5 夜回りが暁を待ち望むにもまして // わたしの魂は主を待ち望む
- 6 イスラエルよ、主に寄り頼め // 主は豊かな贖いに満ち、慈しみ深い
- 7 神は、すべての罪から // イスラエルを救われる

使徒書 コリントの信徒への手紙二 4章13節～18節

4:13 「私は信じた。それゆえに語った」と書いてあるとおり、それと同じ信仰の
霊を持っているので、私たちも信じ、それゆえに語ってもいるのです。14 主イエス
を復活させた方が、イエスと共に私たちをも復活させ、あなたがたと共に御前に立た
せてくださると、私たちは知っています。15 すべてのことはあなたがたのためであ
り、こうして、恵みがますます多くの人に及んで、感謝を満ち溢れさせ、神の栄光と
なるのです。

16 だから、私たちは落胆しません。私たちの外なる人が朽ちるとしても、私たち
の内なる人は日々新たにされていきます。17 このしばらくの軽い苦難は、私たちの
内に働いて、比べものにならないほど重みのある永遠の栄光をもたらしてくれます。
18 私たちは、見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは一

時的であり、見えないものは永遠に存続するからです。

福音書 マルコによる福音書 3章20節～35節

3:20 イエスが家に帰られると、群衆がまた集まって来て、一同は食事をする暇もないほどであった。21 身内の人たちはイエスのことを聞いて、取り押さえに来た。「気が変になっている」と思ったからである。22 エルサレムから下って来た律法学者たちも、「あの男はベルゼブルに取りつかれている」と言い、また、「悪霊の頭の方で悪霊を追い出している」と言っていた。23 そこで、イエスは彼らを呼び寄せて、たとえを用いて語られた。「どうして、サタンがサタンを追い出せよう。24 国が内輪で争えば、その国は立ち行かない。25 また、家が内輪で争えば、その家は立ち行かない。26 もしサタンが内輪もめして争えば、立ち行かず、滅びてしまう。27 また、まず強い人を縛り上げなければ、誰も、その人の家に押し入って、家財道具を奪い取ることはできない。まず縛ってから、その家を略奪するものだ。28 よく言っておく。人の子らが犯す罪やどんな冒涇の言葉も、すべて赦される。29 しかし、聖霊を冒涇する者は永遠に赦されず、永遠の罪に定められる。」30 イエスがこう言われたのは、「彼は汚れた霊に取りつかれている」と人々が言っていたからである。

31 イエスの母ときょうだいたちが来て外に立ち、人をやってイエスを呼ばせた。32 時に、群衆がイエスの周りに座っていた。「御覧なさい。お母様と兄弟姉妹がたが外であなたを捜しておられます」と知らされると、33 イエスは、「私の母、私のきょうだいとは誰か」と答え、34 周りに座っている人々を見回して言われた。「見なさい。ここに私の母、私のきょうだいがいる。35 神の御心を行う人は誰でも、私の兄弟、姉妹、また母なのだ。」